

プログラム

第1日目

2月27日(金) 第1会場(テルサホール)

シンポジウム1 ● 頭蓋咽頭腫の診断と治療および長期成績

9:00~10:20

座長：齋藤 清(福島県立医科大学 脳神経外科)
川俣 貴一(東京女子医科大学 脳神経外科)

- S1-1 頭蓋咽頭腫に対する外科的治療指針およびその治療成績
天野 耕作(東京女子医科大学 脳神経外科)
- S1-2 頭蓋咽頭腫に対する徹底切除と手術到達法選択の重要性
森迫 拓貴(大阪市立大学 医学部 脳神経外科)
- S1-3 頭蓋咽頭腫の長期経過と機能予後
押野 悟(大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科)
- S1-4 頭蓋咽頭腫の長期予後－内分泌学的評価を中心に－
羽生 未佳(鹿児島大学 脳神経外科)
- S1-5 経鼻内視鏡手術導入後の頭蓋咽頭腫に対する手術治療戦略
阿久津博義(筑波大学 脳神経外科)
- S1-6 鞍上部に局限した頭蓋咽頭腫 Kassam clasifcation (Type II) の病態の特殊性と、長期手術成績について
池田 秀敏(総合南東北病院 下垂体疾患研究所)
- S1-7 頭蓋咽頭腫に対する寡分割定位放射線治療の検討
大橋元一郎(新百合ヶ丘総合病院 脳神経外科)
- S1-8 術後残存 / 再発頭蓋咽頭腫に対する通常分割定位放射線治療成績
荒川 芳輝(京都大学大学院 医学研究科 脳神経外科学)

シンポジウム2 ● 胚細胞性腫瘍の診断と治療および長期成績

10:20~11:00

座長：杉山 一彦(広島大学病院 がん化学療法科)

- S2-1 Germinoma の診断における advanced MR imaging の有用性の検討
山崎 文之(広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 脳神経外科学)
- S2-2 病理診断名と髄液中 PLAP 値・HCG 値との多変量分散分析に基づいた頭蓋内胚細胞腫診断と長期治療成績
藍原 康雄(東京女子医科大学 脳神経外科)
- S2-3 診断に難渋し4年余の追跡を経て治療に至った小児下垂体病変の1例
米岡有一郎(新潟大学 脳研究所 脳神経外科)
- S2-4 長期間にわたり診断に苦慮し、ホルモン補充療法を契機に急速に増大した鞍上部 teratoma の1例
笹川 泰生(金沢医科大学 脳神経外科)

シンポジウム 3 ● 機能性下垂体腺腫の診断と治療および長期成績：GH 腺腫**11:00~12:00**

座長：肥塚 直美（東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科）

有田 和徳（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学）

- S3-1 GH 産生下垂体腺腫は早期発見されるようになってきたか？
大野 秀子（新潟大学 脳研究所 脳神経外科）
- S3-2 GH 分泌異常を呈した下垂体腺腫症例について～内分泌学的、放射線学的、病理学的検討～
池田 秀敏（総合南東北病院 下垂体疾患研究所）
- S3-3 先端巨大症の治療成績の変遷と将来展望
川俣 貴一（東京女子医科大学 脳神経外科）
- S3-4 浸潤性 GH 産生下垂体腺腫の治療成績と特徴
田原 重志（日本医科大学 脳神経外科）
- S3-5 先端巨大症薬物療法の長期成績
沖 隆（浜松医科大学 地域家庭医療学）
- S3-6 成長ホルモン産生腺腫に対するガンマナイフの長期治療成績：10年の経過観察の検討
岩井 謙育（大阪市立総合医療センター 脳神経外科）

ランチョンセミナー 1**12:00~13:00**

座長：西澤 茂（産業医科大学 脳神経外科学）

- LS1 安全で確実な治療を目指した内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術：最近の工夫
矢野 茂敏（熊本大学大学院 生命科学研究部 脳神経外科学分野）

共催：帝人ファーマ株式会社

議事総会**13:00~13:20****理事長特別報告****13:20~13:35**

座長：島津 章（国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター）

日本間脳下垂体腫瘍学会プログラムデータベースから何が見えるか

有田 和徳（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科）

研究奨励賞受賞記念講演

13:35~14:15

座長：松野 彰（帝京大学医学部 脳神経外科）

- A-1 無症候性ラトケ嚢胞の自然経過
岡田 満夫（虎の門病院内分泌センター 間脳下垂体外科）
- A-2 先端巨大症における *gsp* 遺伝子変異と臨床的特徴との関連性
後藤 雄子（大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経機能再生学）
- A-3 PROPELLER 拡散強調画像による拡散係数を用いた傍鞍部腫瘍の術前鑑別診断と下垂体腺腫の硬さの術前評価
山崎 文之（広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 脳神経外科学）
- A-4 ヒト多発性内分泌腫瘍症 1 型（MEN1）遺伝子は下垂体腺腫組織型によって splicing variant の発現様式が異なる
小澤 厚志（群馬大学大学院 医学系研究科 病態制御内科）

特別講演 1

14:20~15:10

座長：島津 章（国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター）

- SS1-1 Physiology and Treatment of Acromegaly
A.J. van der Lely（Professor of Department of Internal Medicine, Head of Section of Endocrinology, Erasmus University MC, Rotterdam, The Netherlands）

教育講演 1

15:10~15:50

座長：藤澤 一郎（市立岸和田市民病院 放射線科）

- EL1 間脳下垂体疾患の画像診断
三木 幸雄（大阪市立大学大学院 医学研究科 放射線診断学・IVR学教室 放射線腫瘍学）

シンポジウム 4 ● 機能性下垂体腺腫の診断と治療および長期成績：PRL 腺腫、FSH 腺腫、ACTH 腺腫

15:50~17:00

座長：片上 秀喜（帝京大学ちば総合医療センター 内科・臨床研究部）
東條 克能（東京慈恵会医科大学附属柏病院 糖尿病・代謝・内分泌内科）

- S4-1 Prolactinoma 男性例に対する治療戦略
吉田 大蔵（日本医科大学 脳神経外科）
- S4-2 トルコ鞍底・頭蓋底破壊をきたした PRL 産生腺腫に対する頭蓋底修復術先行治療の意義
工藤 正孝（東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科）
- S4-3 プロラクチノーマにおける重症頭痛と Cabergoline の効果
三木 伸泰（新百合ヶ丘総合病院 内分泌代謝科）

- S4-4 プロラクチン産生下垂体腺腫に対するサイバーナイフ治療の長期成績
佐藤 健吾 (日本赤十字社医療センター 脳神経外科 サイバーナイフセンター)
- S4-5 両側巨大卵巣嚢腫を伴う機能的 FSH 産生下垂体腺腫
福原 紀章 (虎の門病院 間脳下垂体外科)
- S4-6 内視鏡手術におけるクッシング病の治療成績
富永 篤 (広島大学)
- S4-7 ダイナミック造影マルチスライス CT に対する造影動態解析ソフトウェアの開発と機能的微小下垂体腺腫診断への臨床応用について
木下 学 (大阪府立成人病センター 脳神経外科)

シンポジウム 5 ● 診断と治療の難しかった症例：ラトケ嚢胞

17:00~18:00

座長：西岡 宏 (虎の門病院 間脳下垂体外科)
池田 秀敏 (総合南東北病院 下垂体疾患研究所)

- S5-1 下垂体腺腫とラトケ嚢胞合併症例の診断と治療
池田 秀敏 (総合南東北病院 下垂体疾患研究所)
- S5-2 再手術を要したラトケ嚢胞症例の検討
木下 康之 (広島大学 脳神経外科)
- S5-3 特異な経過をたどったラトケ嚢胞の検討自施設のみの問題か？あるいは普遍的な事象か？
北井 隆平 (福井大学 医学部 脳脊髄神経外科)
- S5-4 広範な嚢胞壁切除を要した内分泌機能障害発症のラトケ嚢胞
林 康彦 (金沢大学 脳神経外科)
- S5-5 ラトケ嚢胞の長期治療成績と特異な経過をたどった症例の検討
北条 雅人 (滋賀県立成人病センター 脳神経外科)
- S5-6 難治性ラトケ嚢胞に対する定位放射線治療の初期経験
野村 竜太郎 (日本赤十字社医療センター 脳神経外科 サイバーナイフセンター)

イブニングセミナー 1

18:00~19:00

座長：齋藤 洋一 (大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経機能再生学)

- ES1 Surgery for the treatment of sellar and parasellar skull base tumors
Michael D. Cusimano (Division of Neurosurgery, St. Michael's Hospital
Professor of Neurosurgery, Education and Public Health,
University of Toronto, Canada)

2月27日(金) 第2会場(セミナー室)

一般演題1 ● 手術の工夫

9:00~9:50

座長：齋藤 洋一(大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経機能再生学)

- O1-1 内視鏡下経鼻的経蝶形骨手術における構造的な制限要素となりうる口蓋骨の解剖学的特徴について
丹原 正夫(名古屋第二赤十字病院 脳神経外科 神経内視鏡センター)
- O1-2 視交差後方部頭蓋咽頭腫に対する経錐体法および内視鏡下経鼻手術法に関する解剖学的検討
大山 健一(日本医科大学 脳神経外科)
- O1-3 経鼻内視鏡手術用バイオネット型剪刀とバイポーラの使用経験
南田 善弘(砂川市立病医療センター 脳神経外科)
- O1-4 硬性内視鏡手術における内視鏡洗浄装置の開発
山口 崇(自治医科大学 脳神経外科)
- O1-5 下垂体腺腫に対するハイビジョンシステムと磁場式ナビゲーション併用による神経内視鏡単独手術
黒住 和彦(岡山大学大学院 脳神経外科)
- O1-6 ハイビジョン神経内視鏡下経蝶形骨洞的手術のセッティングと手技
深見真二郎(東京医科大学 脳神経外科)

一般演題2 ● 外科治療(1)

10:00~10:50

座長：矢野 茂敏(熊本大学大学院 生命科学部 脳神経外科)

- O2-1 内視鏡単独経蝶形骨洞手術は先端巨大症治療をどう変えたか
吉田 道春(北海道大学 脳神経外科)
- O2-2 成長ホルモン産生下垂体腺腫に対する内視鏡下経蝶形骨洞手術と薬物療法を併用した治療成績
渡邊 孝(琉球大学 医学部 脳神経外科)
- O2-3 嚢胞性プロラクチノーマに対する外科的治療の意義
萩原 利浩(信州大学 医学部 脳神経外科)
- O2-4 傍鞍部くも膜嚢胞に対する治療法の検討
須崎 法幸(独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 脳神経外科)
- O2-5 小児傍鞍部病変に対する内視鏡下経蝶形骨洞手術
石橋 謙一(大阪市立総合医療センター 脳神経外科)
- O2-6 経鼻内視鏡下下垂体腫瘍摘出術における両側鼻腔・片側鼻腔アプローチの比較検討
菊地 亮吾(慶應義塾大学医学部 脳神経外科)

一般演題 3 ● 外科治療 (2)

11:00~11:50

座長：永谷 哲也 (名古屋第二赤十字病院 脳神経外科)

- O3-1 外科治療をおこなったラトケ嚢胞症例の臨床的検討
岡田 満夫 (虎の門病院 間脳下垂体外科)
- O3-2 ラトケ嚢胞の手術方針：再考
高砂 浩史 (聖マリアンナ医科大学 東横病院 脳神経外科)
- O3-3 高齢者鞍上部腫瘍に対する内視鏡下拡大蝶形骨洞手術の適応と留意点
辛 正廣 (東京大学医学部附属病院 脳神経外科)
- O3-4 高齢者の頭蓋咽頭腫の2例
福井 崇人 (中村記念病院 脳神経外科)
- O3-5 Ectopic recurrence した頭蓋咽頭腫の1手術例
小牧 哲 (久留米大学病院 脳外科)
- O3-6 部分摘出となった非機能性下垂体腺腫の術翌日と3ヶ月後MRIの比較
神宮字伸哉 (長岡中央総合病院 脳神経外科)

ランチョンセミナー 2

12:00~13:00

座長：堀川 玲子 (国立成育医療研究センター 内分泌代謝科)

- LS2 小児の頭蓋咽頭腫と予後
白根 礼造 (宮城県立こども病院)

共催：日本イーライリリー株式会社

一般演題 4 ● 手術方法

15:50~16:40

座長：石井 雄道 (帝京大学医学部 脳神経外科 下垂体・内視鏡手術センター)

- O4-1 大型・巨大下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻アプローチのバリエーション
堀口健太郎 (千葉大学 医学部附属病院 脳神経外科)
- O4-2 巨大下垂体腺腫に対する手術治療戦略
原 拓真 (筑波大学附属病院 脳神経外科)
- O4-3 巨大下垂体腺腫に対する当院での経鼻開頭同時手術の現状と工夫
永田 雄一 (名古屋大学 脳神経外科)
- O4-4 正中腹側前頭蓋底病変に対する開頭経鼻内視鏡同時手術の有用性について
木野 弘善 (茨城県立中央病院 脳神経外科)
- O4-5 経鼻内視鏡手術における頭蓋底再建法
竹内 和人 (名古屋大学 医学部 脳神経外科)

- O4-6 内視鏡下経鼻経蝶形骨洞手術における吸収性プレートを用いたトルコ鞍底再建法
後藤 剛夫（大阪市立大学 医学部 脳神経外科）

一般演題 5 ● 手術管理

16:40~17:30

座長：岡 秀宏（北里大学医学部 脳神経外科）

- O5-1 トルコ鞍近傍病変に対する内視鏡下経鼻アプローチを用いた生検術 -安全性と有用性-
石渡 規生（千葉大学 医学研究院 脳神経外科学）
- O5-2 再発あるいは再増大を来たし治療困難であった下垂体腺腫例—VEP モニタリングによる視機能温存を目標とした治療—
西村 文彦（奈良県立医科大学 脳神経外科）
- O5-3 髄液瘻に対するアテロコラーゲンシートの有用性
後藤 雄子（大阪大学 医学系研究科 脳神経機能再生学）
- O5-4 経鼻的経蝶形骨洞的下垂体腫瘍摘出術後の低ナトリウム血症予防
小林 夏樹（横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経外科）
- O5-5 細菌叢の変化を踏まえた蝶形骨洞内手術における抗菌薬選択
馬場 栄一（日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科）
- O5-6 難治性 chiasmal herniation に対して有茎鼻中隔粘膜弁による Chiasmopexy を行った一例
築山 敦（日本医科大学 脳神経外科）

2月27日(金) 第3会場(大会議室)

一般演題6 ● 画像検査

9:00~10:00

座長：藤澤 一郎(市立岸和田市民病院 放射線科)

- O6-1 下垂体腫瘍摘出術における3D-CT画像の有用性
井上 明宏(愛媛大学大学院 医学系研究科)
- O6-2 傍鞍部病変に対する拡大内視鏡手術前のCTVenographyを用いたのIntercavernous Sinusの評価
水谷 克洋(慶應義塾大学 医学部 脳神経外科)
- O6-3 鞍上部腫瘍の血行動態について
伊藤美以子(山形大学 医学部 脳神経外科)
- O6-4 巨大下垂体腺腫における血管構築微細評価
小川 欣一(広南病院 脳神経外科)
- O6-5 核磁気共鳴エラストグラフィーによる下垂体腺腫の弾性率の評価
酒井 直人(浜松医科大学病院 脳神経外科)
- O6-6 下垂体腫瘍摘出術後遅発性に発症した中枢性尿崩症のMRI信号変化
会田 泰裕(金沢大学 脳神経外科)
- O6-7 経鼻的頭蓋底手術におけるICG内視鏡の有用性と術中リアルタイム定量の試み
秀 拓一郎(熊本大学 医学部 脳神経外科)

一般演題7 ● 病態

10:00~11:00

座長：沖 隆(浜松医科大学 地域家庭医療学)

- O7-1 先端巨大症における手根管症候群の病態解析：神経伝導速度とMRIによる正中神経の評価
笹川 泰生(金沢医科大学 脳神経外科)
- O7-2 先端巨大症手術治療の骨代謝・骨密度への影響
玉田 大介(大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学)
- O7-3 薬物療法で生化学的寛解状態にある先端巨大症患者のQoLは、手術のみでの寛解に比べて低い
吉田 健一(神戸大学医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門)
- O7-4 先端巨大症患者におけるeGFRの変化
藤尾 信吾(鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科学)
- O7-5 成人成長ホルモン分泌不全症に対するGH補充は腎機能を改善しうるか？
笠毛 友揮(今村病院分院 脳神経外科)
- O7-6 非機能性下垂体腺腫における術前重症前葉ホルモン分泌障害に関わる諸因子の検討
小林 伸行(虎の門病院 間脳下垂体外科)

- O7-7 巨大下垂体腺腫術後のコントロール不良な中枢性尿崩症に対してミニリンメルトが有効であった1例
木下 由宇 (さいたま市立病院 脳神経外科)

一般演題 8 ● 病理、病態

11:00~12:00

座長：岩崎 泰正 (高知大学 臨床医学部門)

- O8-1 下垂体卒中と HMGB1
奥田 武司 (近畿大学 医学部 脳神経外科)
- O8-2 下垂体腺種の組織型による血管新生と血管構築の関係
高野 晋吾 (筑波大学 医学医療系 脳神経外科)
- O8-3 下垂体腺腫内出血の症状発現における腺腫と周囲構造の関与する因子の検討
林 康彦 (金沢大学脳神経外科)
- O8-4 ラトケのう胞に認めた硬膜新生血管の血流動態に関する検討
大橋元一郎 (総合南東北病院 下垂体疾患研究所)
- O8-5 症候性ラトケ嚢胞および下垂体におけるアクアポリン発現と嚢胞増大機序の検討
立花 修 (金沢医科大学 脳神経外科)
- O8-6 Ki-67 labeling index が3% 以上であった下垂体腺腫
上原 久生 (宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野)
- O8-7 Xanthogranulomatous reaction を伴った下垂体腺腫の3例
福井 一生 (金沢大学 脳神経外科)

ランチョンセミナー 3

12:00~13:00

座長：松野 彰 (帝京大学医学部 脳神経外科)

- LS3 脳神経外科医が考える術後の成人成長ホルモン分泌不全症 - 診療の3つのポイント -
白川 学 (兵庫医科大学 脳神経外科)

共催：ノボ・ノルディスクファーマ株式会社